

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

## 事業名 県民総参加スポーツ大会推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域スポーツ係

電話番号：058-272-1111 (内 2955)

E-mail：[c11172@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11172@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 5,865 千円 (前年度予算額：5,760 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,760	0	0	0	0	0	0	0	5,760
要求額	5,865	0	0	0	0	0	0	0	5,865
決定額	5,865	0	0	0	0	0	0	0	5,865

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「生涯スポーツ社会」を実現するため、県民総参加・地域密着型のスポーツ大会を支援する。

### (2) 事業内容

第12回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会

開催時期：令和3年10月17日(日) 予定

開催場所：岐阜県庁～不二羽島文化センター間 折返し2往復

### (3) 県負担・補助率の考え方

郡市対抗駅伝大会 補助金 (補助率：定額)

- 小学生から40歳代まで幅広い年代や性別を交えた選手が参加する地域密着型のスポーツ大会であり、地域スポーツの推進を掲げる県として、大会運営の支援は妥当。

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,865	競技団体等への補助
合計	5,865	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第14、15条  
ぎふスポーツ推進計画

#### (2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 郡市対抗駅伝大会 主催：(一財)岐阜陸上競技協会 (公財)岐阜県スポーツ協会  
事務局：(一財)岐阜陸上競技協会

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県民総参加スポーツ大会推進事業費（郡市対抗駅伝）
補助事業者（団体）	（一財）岐阜陸上競技協会 （理由）ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会の主催者
補助事業の概要	（目的）「生涯スポーツ社会」を実現するため、県民総参加・地域密着型のスポーツ大会を支援する。 （内容）ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会の大会運営補助
補助率・補助単価等	<b>定額</b> ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）定額 （理由）後援団体として総事業費の1/2程度を定額助成する。
補助効果	スポーツ精神の高揚と体力の向上が期待できる。
終期の設定	終期令和3年度 （理由）清流の国ぎふスポーツ推進計画終期

### （事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>「生涯スポーツ社会」を実現するため、県民が気軽に参加できる県民総参加型・地域密着型のスポーツイベントを支援し、令和3年度までにスポーツ実施率を65%以上にすることを旨とする。</p>
--

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H20年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①スポーツ実施率	43.3%	65%	65%

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	(予算額) 5,600千円	(予算額) 5,600千円	(予算額) 5,600千円	(要求額) 5,760千円	(要求額) 5,865千円
指標①目標	58%	60%	62%	64%	65%
指標①実績	47.6%	48.6%	43.7%	(推計値) 64%	(推計値) 65%
指標①達成率	82.0%	81.0%	70.5%	(推計値) 100%	(推計値) 100%

(前々年度の成果)

※前年度は新型コロナウイルスの影響で中止

ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会では、県内 28 郡市の小学生から 40 歳以上の様々な年代の代表選手 280 名が参加した。また走路員・給水員・画像記録員・順位速報伝達員として 189 名の一般・学生ボランティアも参加し、大会運営に協力した。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会では、県内 30 郡市全てのチームが参加する大会を継続することが課題となる。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い      △：必要性が低い

(評価)

○

年齢を問わず、県民のスポーツへの関心を高めることが、スポーツ実施率の向上につながるため、事業の必要性は高い。

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている

△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

清流駅伝は、平成 22 年度の 11 チームの参加に比べ、令和元年度は 28 チームの参加と増加しており、事業の効果が現れている。

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている      △：向上の余地がある

(評価)

○

主催者である（一財）岐阜陸上競技協会が運営に関して、効率化を図り、チーム数や参加人数の増加に対応している。

(事業の見直し検討)

令和 3 年度末にスポーツ実施率を 65%以上という目標に向け、スポーツ実施率も上昇し、県民総参加・地域密着型のスポーツ大会への支援を継続することが望ましい。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

**継続**・削減・統合・廃止

(理由)「スポーツ立県・ぎふ」を目指す県として、県民へのスポーツ機会の提供は重要な施策であり、様々な年代の方が参加できる県民総参加・地域密着型のスポーツイベントへは継続的な支援が必要。